

# 保育分野「親の役割と子どもの人間形成」にロールプレイを活用した実践

## 1 実践事例について

共通教科「家庭」の科目である「家庭基礎」において、保育分野で親の役割と子どもの人間形成に関するロールプレイを使った学習を行う演習の事例を報告する。四つの事例を用いて、事例ごとに段階的に思考を深めることができるようにした。

この演習の目的は、さまざまな事例において、どのように考え、どう対応したらよいかを判断させることを通して、子どもを育てる親としての自覚を持つとはどういうことかを考えさせることである。また、ロールプレイごとに評価基準を設定することで、演習の効果が上がるよう配慮した。

## 2 学習活動の概要について

### (1) 単元名

子どもの発達と保育

### (2) 単元の学習目標

ア 乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもの育つ環境について理解する。

イ 子どもの健やかな成長のために親や家族及び地域や社会の果たす役割について認識する。

### (3) 評価規準

〈関心・意欲・態度〉 保育に関心をもち、男女が協力して家庭を築くという視点から、実践的・体験的な活動を通して、親の役割と保育の重要性について考えようとしている。

〈思考・判断・表現〉 子どもの発達と保育について、現代の家庭生活を見つめて課題を見出し、課題解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現している。

〈技能〉 子どもと適切に関わることができ、子どもの発達を支援するために、必要な技能・技術を身に付けている。

〈知識・理解〉 子どもの発達について理解し、家族及び地域や社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。

### (4) 単元の工夫

ア 子育ての様子を観察できる場面や乳幼児との触れ合いや交流といった実践的・体験的な学習活動を取り入れ、子どもと関わることに関心をもたせる。

イ 乳幼児期は基本的な生活習慣の形成が重要であることを理解させるためにICT機器や実物見本、具体的な育児に関する事例を用いてより分かりやすく授業展開をする。

## (5) 主な学習活動

### ア 題材の指導計画（全8時間）

学習項目（時）	学習活動（時）	言語活動に関する指導上の留意点
子どもの心身の発達（4）	次世代を育てるということ（1） 胎児は母体とともに（1.5） <u>（別添資料1）</u> 子どものからだの発達（1） 子どもの心の発達（0.5）	・日常生活や体験の中で感じ取ったことを、言葉で表現させる。 ・シナリオを読んだ上で、自分の知識や経験を踏まえて自分の考えをまとめさせ、表現させる。  <u>（別添資料1）</u> <u>（別添資料2）</u> <u>（別添資料3）</u> <u>（別添資料4）</u>
子どもの生活と親の役割（3）	親と子とともに育ち合う関係（1.5）（1/1.5 本時） <u>（別添資料1）</u> } このうちから <u>（別添資料2）</u> } 生徒の状況を <u>（別添資料3）</u> } 見て選択 <u>（別添資料4）</u> } 子どもの生活（1） 子どもの遊びと発達（0.5）	・課題について意見を交換させる。 ・自分と異なる考えにも耳を傾け、相手の考えを受け入れることができるように配慮する。 ・男女や親子の配役を交代することによってお互いの気持ちを考えさせる。
子どもをとりまく環境と福祉（1）	子育て支援と地域の交流（0.5） 子どもの人権と福祉（0.5）	・「地球上の子どもたち」をテーマに小論文を書かせる。

### イ 本時の学習（5/8時間）

#### (ア) 学習目標

- ① 育児に関わる親の在り方について具体的な事例のロールプレイを行い、子どもを生み育てることについて考える。
- ② ロールプレイを通して具体的な事例を基に、親には次世代を担う子どもを健やかに育てる責任があり、子どもと適切に関わり、子どもとのコミュニケーション能力を高めることが重要であることを理解する。

#### (イ) 本時の展開

- ① 配役を決めてシナリオを読み合わせる。また配役を替えて読み合わせを行う。
- ② 共感したこと、理解できなかったこと、分からないことを（ ）に記入する。
- ③ せりふを考えて入れる演習を行う。
- ④ 子どもとの関わり方について考える演習をする。
- ⑤ シナリオについてグループで話し合いを行った後、各自の考えをまとめる。

#### (ウ) 言語活動を通して、思考力・判断力・表現力を育成するための手立て

##### ① ロールプレイの工夫

シナリオを読んでいく中で感じ取ったことを表現させる。役割を交代して読むことにより固定観念からの脱却を図るようにする。

② シナリオの工夫

シナリオに自分の考えを話すせりふを設定し、具体的に表現させる。考えた内容について他者の意見を聞き、自分の考えを振り返らせる。また、新聞の投書例を読み、育児の大変さや母親の気持ちを考え、自分の考えを述べる。

③ 意見交換の工夫

それぞれが考えたせりふや内容に関する意見交換を通して、現在の子育てに関する課題について考えさせる。

(エ) 評価の観点（思考・判断・表現）

① シナリオから自らの知識や経験を踏まえて自分の考えを表現している。

② 互いの考えを伝え合い、自分の考えや集団の考えを発展させている。

(オ) ロールプレイ演習における評価

[別添資料5](#)のように評価基準例を定めた。

ウ 授業実践を終えて

(ア) ワークシートより

[別添資料1](#)、[別添資料2](#)、[別添資料3](#)、[別添資料4](#)、のような感想であった。

(イ) 生徒の変容

子育てについては、育った家庭の影響が大きく、自分の家がそうだからこうするものだという意見が出た。しかし、実際に具体的な事例を用いることで子育ての大変さも分かり、意見も活発に出され、異性を含む他の人の意見を聞くことで、固定観念が変化するという効果をもたらした。

### 3 授業実践の成果と今後の課題

今年度は昨年度のロールプレイをより具体的に発展させ、シナリオを一つ追加した。また、評価について例を挙げた。

生徒はロールプレイを進めていくうちに子育てがいかに大変なことであるか、自分の親もこのように大変な思いをしながら育ててくれたことに気付くことができた。そして、[ロールプレイ-4](#)を通して、将来子育てに関わった時に相手を思いやる気持ちの大切さを育むことができたと思われる。

評価については[別添資料5](#)に示した。[ロールプレイ-1](#)から[ロールプレイ-4](#)を1時間内に複数実施した場合については、生徒の状況や教員側が特に重点をおきたいロールプレイ・評価の観点を選択し、柔軟に対応していくようにするのがよいと考える。なお、評価例は本校の生徒を対象として考えている。

今後の課題については、ロールプレイのよりいっそう実り多い活用ができるように、育児の知識や現状を事前に分かりやすく取り扱い、実践の興味が湧くような取組になるよう工夫していきたい。

#### 〈参考文献・資料〉

『高等学校学習指導要領解説家庭編』 文部科学省 平成22年1月

『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 共通教科「家庭」）』

文部科学省 国立教育政策研究所 平成24年7月